

1、 本園の教育目標

幼児の心身共に健やかな成長発達を願って、幼児の主体的活動としての遊びを十分に確保し、一人ひとりが遊びを通して興味関心を持ち、試したり考えたりする過程を大切にした教育を行う。また幼児期にふさわしい生活を展開されるよう適切な環境を用意し、教師との信頼関係に支えられた生活、友達と充分関わって展開する生活がなされるように配慮した教育を行う。

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

目標・計画	具体的な取り組み方法
新型コロナウイルス感染症の対策	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があることから、今後どのようなことが起こるかを想定し、保健衛生面の徹底および備品の備蓄等に努める。
新型コロナウイルス感染症の影響による保育の進め方	今後影響が大きくなると例年通りの保育ができなくなるおそれがあることから、職員間で話し合い、休園が続くことも踏まえた対策を考える。
家庭とのつながり	新型コロナウイルス感染症の影響による休園が続く場合、子どもとともに保護者への影響も考えながら、家庭と園がつながりを感じられるための方策を考える。
職員の自己研鑽と保育の質向上	新任教員もいる中で、コロナと向き合いながら、職員全体での研修の機会の確保や在宅でできること、今だからこそ話し合う内容などを精査し、子どもの安定を確保したうえで、新しい環境のもとでどのように保育を進めていくかを話し合う。
プロジェクト型保育・環境構成の充実	子どもが自ら考えることが面白いと思えるきっかけ作りを心がけると共に、遊びの経緯を常にチェックし今何が必要かを見極め、見通しをもって環境構成の充実を図るようにする。
特別支援教育の理解と充実	各クラスで困り感のある子、サポートを必要とする子が一定数いることが想定されていること、コロナの影響に対する子どもの安定の両面から、園全体で一人一人の内面を把握し、理解を深めその子に適した支援のあり方やきめ細かな対応方法を協議していく。また必要に応じて加

	配教諭を配置しできるよう各クラスに1名のサポートがつける体制を構築する。
--	--------------------------------------

### 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
①新型コロナウイルス感染症の対策	保育開始前と保育終了後の保育室内、園庭遊具などの消毒作業や定期的な換気を毎日行い、給食およびおやつ時、水道部分にパーテーションを設置、全保育室の加湿空気清浄機を新たに買い替え、乳児クラスと3歳児、遊戯室に次亜塩素酸空間除菌脱臭機を導入した。また、マスク、手袋、アルコール消毒液の備蓄を行い、職員への行動の注意喚起を徹底したことや保護者の協力もあり、感染者を1名も出すことなく、1年間無事に終えることができた。
②新型コロナウイルス感染症の影響による保育の進め方	新年度早々およそ2カ月間、1号認定児は休園、2・3号認定児は登園自粛を要請し、5月末から分散登園、6月から全園児揃っての保育開始という異例のスタートであったが、その期間を利用して職員間でどのような保育を展開していくかを話し合い、コロナ禍でやり方を変更するもの、例年どおり行うものを整理した。マスクの着用、頻繁な手指の消毒など子どもたちに協力してもらう部分もあったが、遠足もできる限り行い、子どもの経験をできるだけ確保できるよう努めた。プール遊びとピアノの指導のみ実施できなかった。
③家庭とのつながり	自粛期間中、試行錯誤しながら動画配信に取り組み、新年度が始まったにもかかわらず園に来ることができない園児たちへ職員および保育室を紹介したり、体操、歌、製作、絵本を使った保育の一端を感じてもらったりできるよう配慮した。多いもので1,000回を超える視聴回数があり、保育を受けられない子どもたちへの援助に少しなりとも役立ったと感じている。また、電話連絡により家庭での様子を伺う機会も設けた。

④職員の自己研鑽と保育の質向上	自粛期間中職員の通勤を最低限としたが、自宅で取り組める課題・レポート提出により保育開始時に課題を持ち寄り、園内研修の形で今後の保育をどう展開していくか話し合い、また少なからず実施された対面研修およびその他のZOOMや動画配信での研修にできる限り参加した。特にネットを使った研修は研修会場への移動や勤務時間中に工夫することで複数の職員が参加することができ、昨年度以上の回数受講することができた。園内研修は運動、音楽、製作、絵本などテーマを絞って深く議論でき、年度末には新たに約250冊の絵本を購入した。
⑤プロジェクト型保育・環境構成の充実	お店屋さんごっこや発表会は日々の子どもたちの興味関心を拾い上げながら丁寧に保育に落とし込むことで、子ども達の主体的な表現の場とすることができた。これに対し、運動会では1学期の保育期間が短かったこともあり、1学期から楽しみながら発展させていく期間が取れず、保育者主導的な部分もあり、今後の課題となった。
⑥特別支援教育の理解と充実	年々配慮の必要な子どもが増える中で、今年度から年少組および乳児クラスに加配教員を配置することができた。ただ、それを超える人数の配慮児がいたこともあり、すべての子どもの育ちを担保する保育ができなかった部分もあった。

#### 4、今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
新型コロナウイルス感染症への対応と保育の展開	次年度もコロナウイルスの影響は続くことが確実であり、今年度同様の感染予防対策が求められるが、保健衛生面に気を付けながらも昨年度実施できなかったプール遊びやピアノに代わる電子キーボードの導入などにより例年に近い経験を子ども達ができるよう工夫する。
特別支援教育の理解と充実	年々増える配慮の必要な子どもへの対応として、年中組へも各クラス加配教育を置くとともに、年少組では必要に応じて3人体制で保育にあたり、より丁寧な保

	育を行う。
災害対策及び不審者対策	昨年度保育日数が少なかったことと、雨の日が重なり、園庭への避難の回数は計画より少なかったため、次年度は年間計画どおりに不審者対応も複数パターン行いたい。
保育環境の理解と充実	保育環境評価スケール（テルマホームス）を元にした環境チェックリストを作成し、園内研修を行い、預かり保育を含む、各クラスのコーナーづくりとそのねらいを担当それぞれが発表し合い、学年にふさわしい環境構成と3学年の育ちの連続性を意識できるようにする。
職員の自己研鑽と保育の質向上	今年度も引き続き幼稚園連盟教育研究所のプロジェクトに2名の職員が参加し、①6年間参加した26次プロジェクト（神戸大学大学院・北野幸子准教授）は最終となり、②28次プロジェクト（兵庫教育大学大学院：鈴木正敏准教授）は近畿地区教員研修での発表を控え、それぞれで学びを深めていく。ファシリテーション研修（全6回）にも1年間を通し参加し、園内研修に生かしていく。その他のZOOMや動画配信での研修にも積極的に参加する。
新人育成	幼児クラスに3名の正規職員（経験者・4大卒・短大卒）および1名のパート職員が配属されたため、自園で大切にしていることを理解し、金田幼稚園にふさわしい人材となれるよう育成にも力を入れる。
2歳児と3歳児のつながり	特別支援の側面から初めて乳児クラスから幼児クラスへ正規職員1名、パート職員1名が異動となったが、引き続き2歳児から3歳児の進級がスムーズに行くようなカリキュラムを考えていく。

## 6、学校関係者評価

### ①新型コロナウイルス感染症の対策

#### 【A】

換気、消毒はもちろん、他にもしっかりと対策してくださっていたと思う。

1年間、陽性者が1人も出ていないという結果につながっていると思う。

休園がないという事は、子どもにとっても保護者にとっても安心につながり、感謝

している。

【B】

こまめな手洗い・消毒、食事中の対策など、現在できる保健衛生面の徹底していただけていると思います。

【C】

消毒や換気など、しっかりとされていたと思います。

加湿空気清浄機や次亜塩素酸空気脱臭機も導入され、徹底したコロナウイルス対策ができていたと思います。

【D】

とてもしっかり対策をしていたと思う。近隣の小学校・幼稚園から感染者が出ていたが、1人も出なかったのは、素直にすごいと思う。

【E】

コロナウイルスの流行の以前から園内は常に清潔に保って頂いていたと思うので、それほど心配はしていませんでしたが、更なる消毒の徹底や空間除菌なども導入して頂けて園内に対しては安心して登園させる事ができたなと感じています。

登園時の子供の手の消毒は、少し少ないのかなと思っていました。

【F】

手指消毒はもちろん、給食時のついたてや、外遊びでのマスク着用など子供たちに無理がないような対策をしてくれましたし、来園する保護者にも徹底していたと思います。

②新型コロナウイルス感染症の影響による保育の進め方

【A】

昨年のプール遊びがなかったのは残念だが、仕方がないことだと思うし、水あそび・泥あそびは実施するなど、いかに子どもたちが楽しめるかを考えた保育をしてくださったと思う。

【B】

水遊び、運動会、生活発表会、どれも開催事が難しい中、行事を中止にする事なく、さまざまな対策をした上で開催していただき、子供に例年と変わらない体験をさせていただいていると思います。

【C】

コロナ禍で行事を行うのがむずかしい中、クラスごとにしたり、人数を制限したり、時間で区切ったりしながら、密にならないように工夫していただけて、子供たちも親も安心できたので、よかったです。

【D】

感染予防のため例年通りに行かない中で、いつも通り遠足など実施していて、とても良かった。

いつも通りにするには、コロナ禍の中では本当に大変だったと思う。

幼稚園最後の年に何もなければと子供も心配していたので行事のたびにとてもうれしそうだった。

【E】

園にとっても異例の出来事だったにも関わらず、できるだけ行事や子供達の経験や

学びに対して配慮して頂けたかなと感じています。  
マスクもしっかりと付けて過ごせる指導も園でして頂けた事で、家庭でも（外出時）マスクを付ける事を嫌がったりしなくなりました。  
まず分散登園の段階を踏んで頂いた事も良かったです。

【 F 】

ピアノやハーモニカなど、できないこともありましたが、例年とほとんど変わらない保育が受けれたように思います。行事も縮小や変更はありましたが、対策を考えて開催してくれ、子供も親も嬉しかったです。

③家庭とのつながり

【 A 】

動画配信はとても良いアイデアだった。登園しなくても担任の先生に触れ合うことができ、幼稚園への楽しみを、ふくらませることができていたと思う。

【 B 】

休園時の動画配信での体操など子供が楽しめる対応、イロドリリンクでの保護者に対する細やかな対応、お迎え時でのケガなどの連絡、家庭とのつながりが、きちんと出来ていると思います。

【 C 】

自粛期間中に担任の先生から電話をいただき、自宅での様子や相談など、話を聞いてもらえたことで、親としての不安な気持ちも少し軽くなった気がします。  
動画配信も子供たちは先生の顔が見れて、うれしそうにしていたので、とても良いアイデアだったと思いました。

【 D 】

Y o u T u b e に動画を配信したのは、とても良かった。卒園した上の子と一緒に、興奮しながら見ていた。動画を見て早く幼稚園に行きたい、先生に会いたいと言っていた。定期的に電話で子供の様子などを聞いてくれたのも良かった。

【 E 】

コロナウィルスの影響により、約2ヶ月の間、「初めての登園がどうなるのか」という心配が続き、本年度入園の保護者は特に不安が大きかったので、園から配信される先生方の動画を見て、子供が先生の名前とお顔を覚えられる事ができて、とても安心できたので、すごく良かったと思います。

【 F 】

休園中に Y o u T u b e で先生方の動画配信は、子供もすごく喜んで何回も見ていました。

幼稚園に行けなくても、幼稚園を身近に感じる事ができましたし、登園時もすんなりなじめたので、すごく助かりました。

④職員の自己研鑽と保育の質向上

【 A 】

他の幼稚園の取り組みを知ることも大切だが、配慮に必要な子どもの心理や対応なども知識を向上して共有できたらもっといいと思う。

【B】

コロナで厳しい中でも、きちんと研修されていると思います。  
新たに 200 冊の絵本購入など、質の向上をしっかりとはかられていると感じました。

【C】

職員の皆様がいろいろな研修に参加されることによって、保育の質が今よりも向上し、子供たちにとってよりよい園生活が過ごせることに感謝しています。

【D】

リモートを活用して研修などに参加するのはとても良い。今後も続けてほしい。

【E】

コロナウイルスの影響でリモートが普及した事は先生方の研修受講の面でも良かったのだなと思いました。研修により先生方の保育に対する知識や質の向上が子供達の心と体の発達に直結すると思うので、たくさん受講できたり議論ができた事はとても良かったと思います。

【F】

先生方が研修などで学び、保育、教育を良くしようと努力してくださっているんだなと感じました。絵本を購入したとのことで、子供たちが絵本にふれる機会がもっと増えるといいなと思います。

⑤プロジェクト型保育・環境構成の充実

【A】

お店屋さんごっこや生活発表会で、自分たちがどうやって考えたかを子供が家で話してくれる姿を見て、「自分で考える」保育ができていると思う。

【B】

お店屋さん、生活発表会、子供自身に考えさせ、話し合いをさせて頂いているおかげで、自分の考えをしっかりと持って、友達、家族に意見を伝えて来る様になって来ています

【C】

コロナにより、1学期の保育期間が短くなってしまったことによって、運動会については満足のいく出来ではなかったのかもしれないが、いろいろ考えながら開催していただいたこと、感謝しています。お店屋さんごっこは、子供たちの意見を取り入れ、たのしみながらできたと思います。

【D】

お店屋さんごっこ、生活発表会で子供達が考えた内容を使っていておもしろかった。

自分達で考え、作る事も楽しんでいた。子供は自分で考えた物の方が愛着がある様で、家で話をしてくれる事が多かった。

【E】

お店屋さんごっこは子供達がみんなすごく楽しそうにしていたのがとても印象的でした。コロナ禍で行事や参観の行く末がわからない中、お店屋さんごっこや発表会の実施をして頂けて良かったです。実施するにあたっての対策や感染防止も色々と考慮されていて、子供達の行事に取り組む姿も見られて、園には感謝しております。

【 F 】

子供たちの意見や考えを遊びから学びにつなげているのがお店屋さんごっこや発表会を見てよくわかります。子供の話を聞いていても、しっかりとみんなで話し合いをして意見交換ができていたんだなと感じました。

⑥特別支援教育の理解と充実

【 A 】

配慮の必要な子どもを担当が対応することで保育がストップしてしまうと子どもも集中力も途切れてしまうと思うので、できればクラスに1人は対応できる職員がいれば望ましいと思う。

時と場合に応じては、クラスのみならず同じことをするのは大切だが、その子の思いを受けとめてあげられる対応も大切だと思う。

【 B 】

補助の先生が年々増えていきちゃんと対応して頂いていると思います。

【 C 】

サポートが必要な子の数に応じて教員を配置することはむずかしいとは思いますが、今できる限りの対応をしていただけてるのではないかと思います。

【 D 】

教員を増やし配慮が必要な子供に対応していると思う。

園長先生をはじめ、先生方は皆、子供達をよく見ているし、子供の事を一番に考えている。

【 E 】

配慮の必要な子供が年々増加しているのは感じていましたが、その他の周りの子供達にとっても必要な経験だと思うので先生方の努力の下、共存できている事は、よい点も悪い点も含め、子供達が共同生活を学ぶにあたっては良い事だと思っています。加配教員の配置が十分であり、より良い教育の場となることを願います。

【 F 】

各クラスにフリーの先生が1人ついてくださることで、安心感はあったと思います。

クラスや活動によってその都度先生の人数を増やしたりできれば、より多くの子供に寄りそった保育ができるのではと思います。

⑦今後の取り組むべき課題について

【 A 】

新型コロナウイルスがどうなるかわからない中、無理かもしれないけど、日程を分散するなど工夫して土曜参観（父親参観）が復活できればと思います。

【 B 】

6月の参観で、教室より何度も出ていく園児を見て、課題としてあげられている通り、年中組へも各クラス加配教員を置く必要と状況によっては年長組さんへの加配教員の必要を感じました。

【 C 】

今後も新型コロナウイルス対策は必要なので、このまま徹底すること。



【D】

今年度同様に感染症対策をしっかりやって頂きたいです。

【E】

年間行事はできる限り、例年通り実施して頂きたいと思います。子供達の成長をこの貴重な時期に目の当たりにしたいと願わない親はいないと思います。

また、保育の質の向上は保護者にとっても園児にとっても望む事ではありますが、「今までの方が良かった」と思う事がないよう、園の良き伝統は守って頂きながら必要な向上を目指して頂きたいなと思います。

【F】

引き続き、感染症対策を取りながらも、いつもと変わらない保育、教育ができればいいなと思います。子供たちの不安やストレスも心配ですが、それを感じないくらい楽しく過ごせるように配慮していただけたら有難いです。

## 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。